

セルビンでつかまえる

1. エサのつくり方

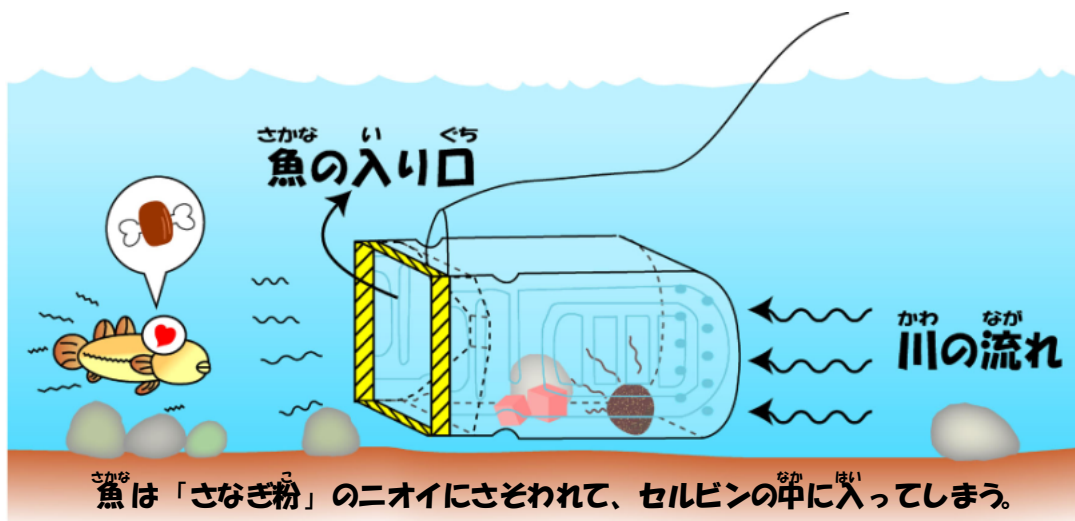
エサは魚の好きなニオイがする「さなぎ粉」や「魚肉ソーセージ」などがよい。
釣り具屋さんで売っている「さなぎ粉」は水を少しずつ加えて手でこねる。なるべく硬くなるように水を調節するのがコツだよ。



2. セルビンをしかける

流れのゆるやかなところや川岸の草かげなどにしかけてみよう。

注意!! 「魚の入り口」は下流側にしておこう。



注意! せっかくなつたオリジナルセルビンが流されてしまわないように、タコ糸で近くの木や岩などにつないでおこう。



釣りで調査をしてみよう

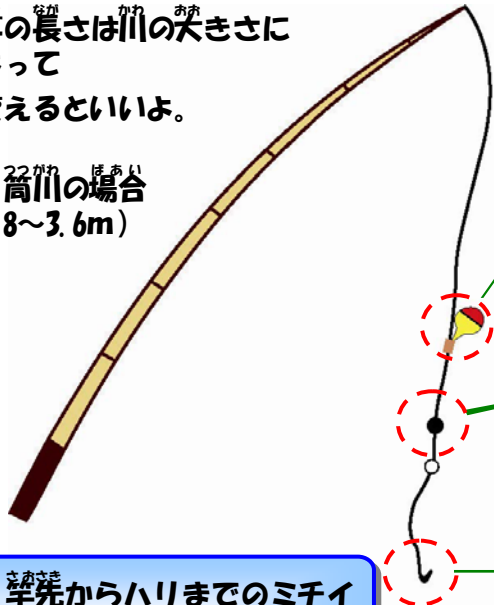
ウキ釣り

もっとも基本的な釣り方で、川だけでなく、池や海でもできるので、おぼえておこう。

1. しかけを作ろう

竿の長さは川の大きさに
よって
変えるといいよ。

(筒川の場合
1.8~3.6m)

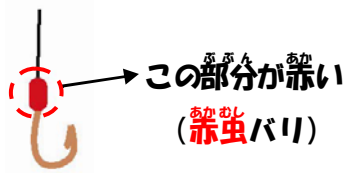


三千イト 0.8号~1.0号 (ナイロン)

ウキ (ウキ止めゴムがいるよ!)
・玉ウキ
・トウガラシウキ

オモリ (かみつぶしおもり)

ハリ
・赤虫バリ
・袖バリなど



注意! 竿先からハリまでのミチイトの長さは 竿と同じくらいの長さにするとOK!

2. エサ

エサは、魚の種類によって違いますが、万能エサ (どんな魚でも食べるエサ) としては、魚肉ソーセージ、水生昆虫 (カゲロウ、トビケラの幼虫)、ミミスなどがいいよ。



魚肉ソーセージ



水生昆虫 (トビケラ、カゲロウの幼虫)



ミミス

また、水生昆虫は、川の中で見つけることができるので、それをエサとするとOK!!

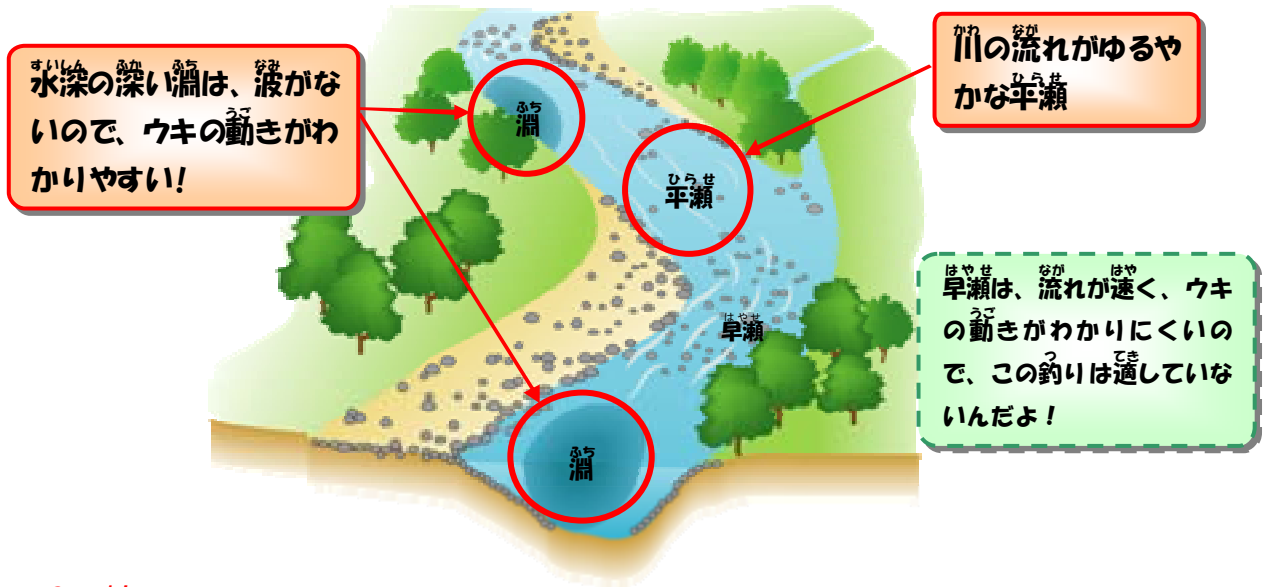
■エサのとり方



エサとなる水生昆虫 (トビケラ、カゲロウの幼虫) は、釣り場に行って石をひっくりかえしたりすると見つかるよ!!

3. 釣るポイント (場所)

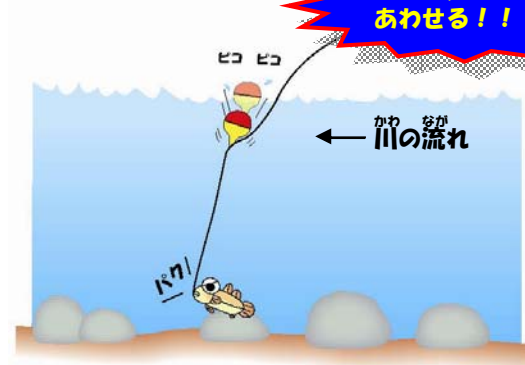
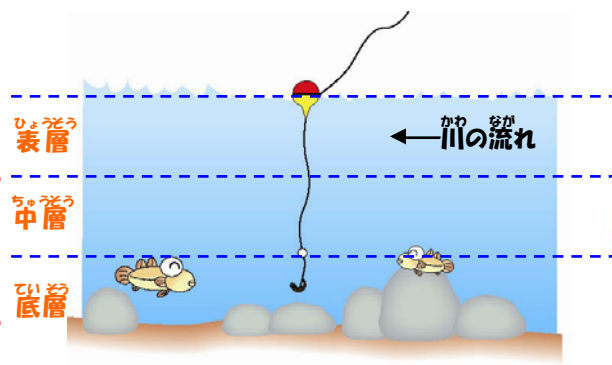
ウキ釣りのポイントは、水深のある淵や、ゆっくり流れる平瀬がいいよ。



4. 釣り方

釣り方は、かんたんだよ。ハリにエサをつけて、釣れそうなポイントの上流側から下流側へ、しかけを流します。ハリやエサに魚が食いつくとウキが動くので、そのときに「ビシッ」と、あわせればOK!!

この層にエサを投入



① 中層～底層にエサがくるようにウキを調節します。
魚がいそうなポイントを見つけたらポイントの上流から下流へ仕掛けを流します。

② 魚がエサをつついたり、食べたりするとウキが不自然に“ピコピコ”動きます。そこで、竿をあげて「あわせ」を入れるとつれるよ。

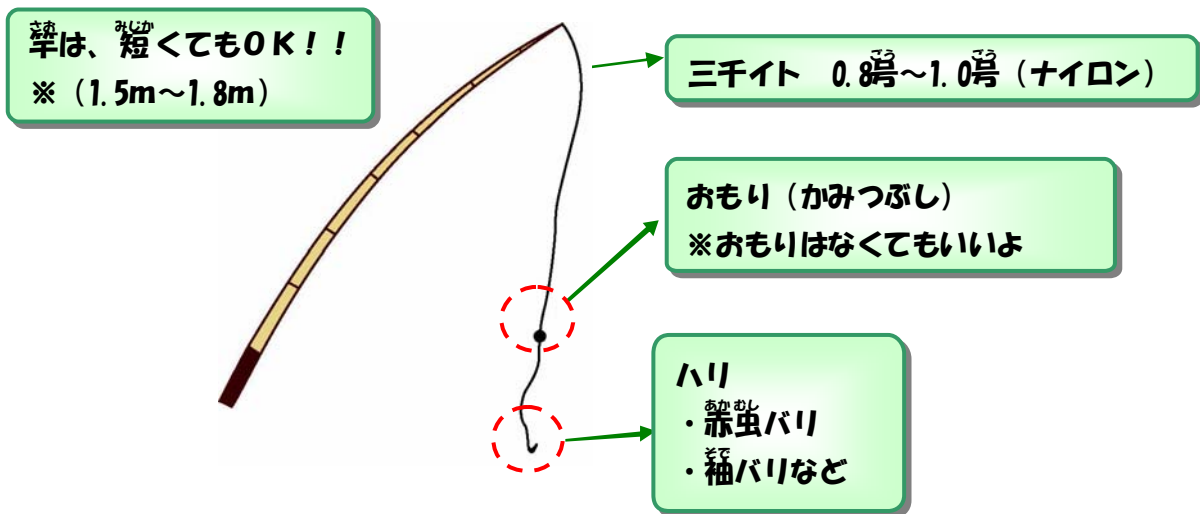
注意!! アタリがあって、あまり長い時間、そのままにするとハリが飲まれてしまうよ!

あんま釣り

「あんま釣り」とは、昔からの伝統的な釣り方で、ウグイやオイカワを釣るための方法だよ。足で川底の石を動かし、川をにごしながら釣るので「にごし釣り」とも呼ばれています。

1. しかけを作ろう

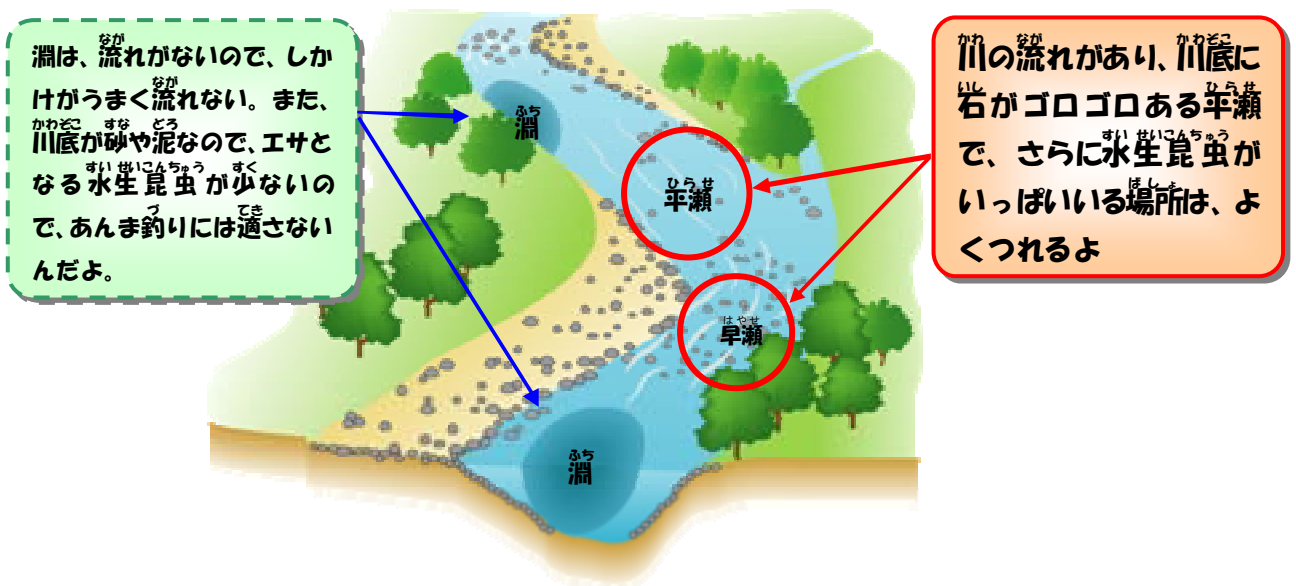
あんま釣りの仕掛けは、簡単だよ！竹竿じゃなくても、そこらへんに生えているヨシとか、竹でもOKだよ！



ハリは、水生昆虫の幼虫に似ている毛ほりでもOK!!

2. あんま釣りのポイント

あんま釣りは川に流れがあり、川底に大きな石がごろごろしている平瀬や早瀬でよくつれます。でも、早瀬は流れがはやいので、流されないように注意してね!!

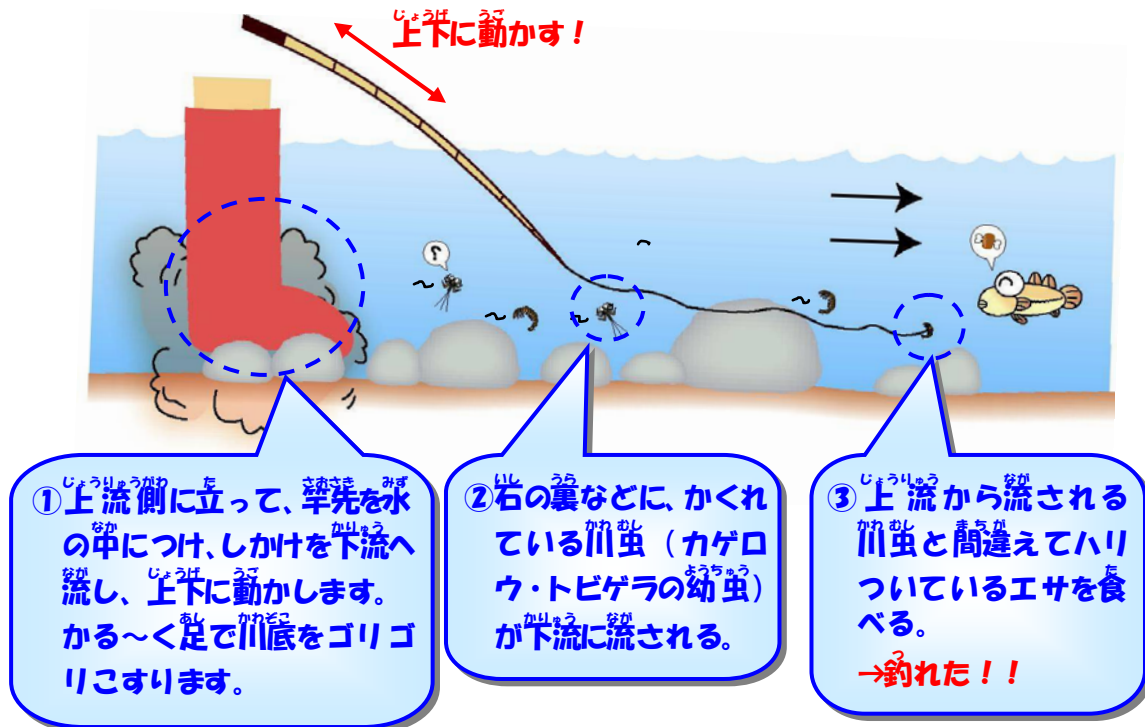


3. 釣り方

あんま釣りは、川底の石にかくれている水生昆虫を足を使って、下流に流し、その流れている水生昆虫と釣りバリについているエサをまちがえて、食べたところを釣る方法だよ。

釣り方のコツは、ズバリ!! 「足の動かし方」と「手の動かし方」だ!!

いろいろ、研究してみてね!!



① 上流側に立って、竿先を水の中につけ、しかけを下流へ流し、上下に動かします。かる〜く足で川底をゴリゴリこすります。

② 石の裏などに、かくれている川虫（カゲロウ・トビゲラの幼虫）が下流に流される。

③ 上流から流される川虫と間違えてハリについているエサを食べる。
→釣れた!!

(注) エサはウキ釣りと同じだよ! もちろん、毛バリでもOK!



釣りのスタイル
川の上流側に立って、竿先を水の中につけ、しかけを下流へ流します。
※流されないように注意してね!



釣りのポイント
かる〜く足で川底をゴリゴリこすり、川底のエサを下流に流します。
釣りのポイントは、流れるエサとハリのエサを間違えさせるように工夫する。

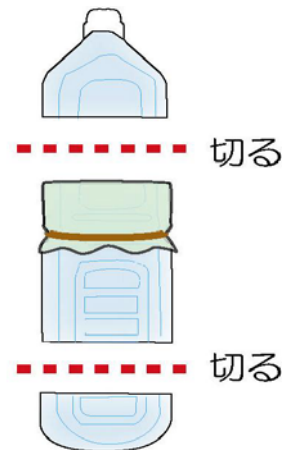
☆箱めがねを作って、のぞいてみよう！！

もしもペットボトルがあまったら。。

オリジナル「のぞきメガネ」もつくってみよう！

つくり方はかんたん。ペットボトルを輪切りにして、まん中の部分にとうめいのラップをはり、輪ゴムでとめるだけ！

のぞきメガネを川に入れて上からのぞくと、水の中の魚たちがみえるかもしれないよ！？



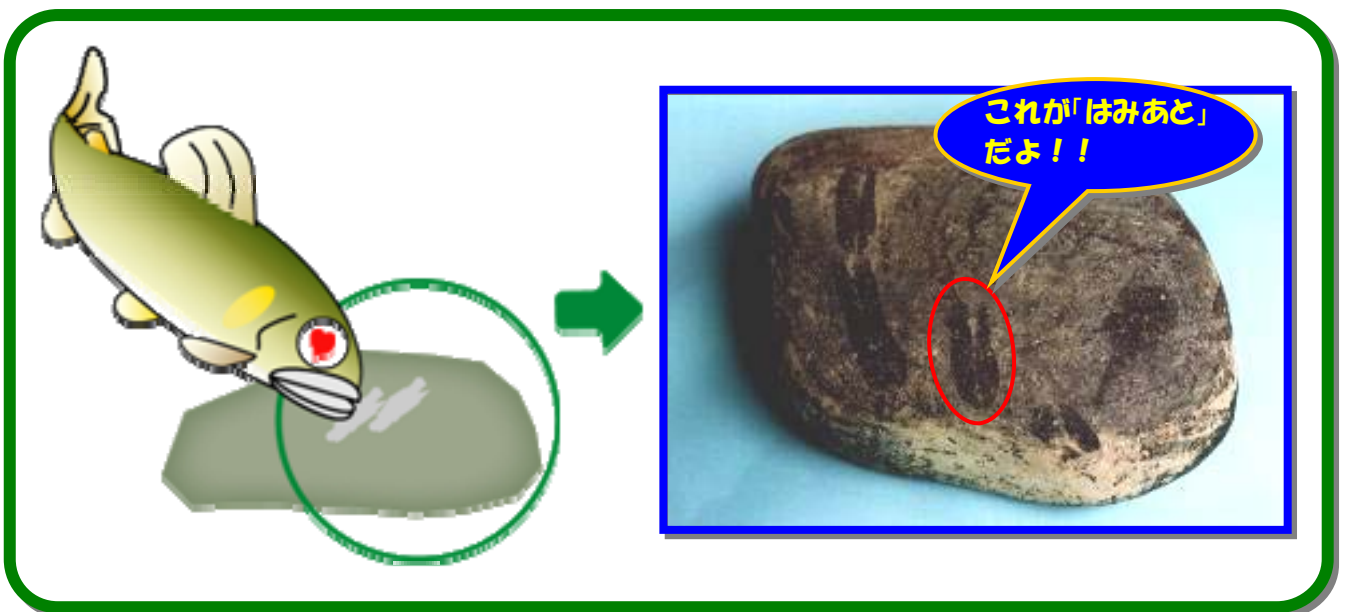
☆アユのはみあとをさがす！！

アユが筒川のどのあたりにいるのか、それを知りたいと思ったら、アユの「はみあと」をさがしてみよう。

アユはきれいな石の表面のコケ(ケイソウというフランクton)を食べて生活しています。そのコケをアユが食べたあとが「はみあと」で、食べるときに、くしのような歯をいきおいよく岩や石にこすり付けるので、そこにくし状のあとができるんだ。

「はみあと」がみつければ、アユがいるということになるよ。泳いでいるアユは、みつけるのがむづかしいけど、「はみあと」は動かないので、みつけやすいよ。

アユの「はみあと」をさがしてみよう！



アユの「はみあと」